

「女性医師のキャリアを支える」

日時：平成27年12月7日(月) 18時～ 場所：大阪医科大学 地下食堂

司会・まとめ

大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学 教授

玉置 淳子

出席者

高槻赤十字病院 消化器外科 副院長

平松 昌子

大阪医科大学 臨床研修室 臨床研修専門指導医

寺沢 理沙

市立ひらかた病院 耳鼻咽喉科 主任部長

森 京子

大阪医科大学 バンビ保育室

平井 智子

大阪医科大学 内科学(Ⅲ) 診療准教授

宗宮 浩一

大阪医科大学 脳神経外科 特別任命教員教授

梶本 宣永
(敬称略)



▶ 女性医師としての自己紹介

玉置 私が司会を仰せつかりました玉置と申します。バックグラウンドをお話しますと、産婦人科で臨床を10年。そのあとはずっと公衆衛生できています。40歳くらいで結婚し、子どもはいないので、自分自身が子育てとの両立等で苦労したという経験は、残念ながらありません。

平松 私は昭和59年に本学卒で、それから消化器外科に、男ばかりの社会に入りました。食道外科を専門とし、2年前に高槻赤十字病院の副院長になりました。男の人と同じようにやってただけで、子育ての経験はありません。最近の外科医不足については、医学部の女性が3割、4割になっていますので、男性が外科を敬遠する上に、これまで通り女性も入らないと、さらに外科医が減っていく傾向にあります。外科では学会をあげて、女性医師を増やそう、育てようというムードになっています。消化器外科というのは本当に家庭との両立が難しい。へとへとになってがんばっても、子育て中は長時間手術に入れない、なので手術症例が足りなくて専門医がとれない等の問題があって、なかなか大変なのです。そういう現状を何とかしたいという声が女性外科医からあがって、つい最近、「消化器外科女性医師の活躍を応援する会」というのを作って、私が初代会長に祭り上げられました。

森 平成9年卒で、大阪医科大出身の耳鼻科医です。結婚は30代後半、遅くなりましたが子どもが一人います。2年前から市民病院に勤務しています。外科系の場合、結婚された先生の例などを見ていると、5時に帰らなくてはいけない場合は手術に入れないというような例があったんです



玉置 淳子先生



寺沢 理沙先生

けど。私は、手術も続けさせていただきながら子育てもしています。

寺沢 私は平成19年、北海道の旭川医科大学の卒業です。4年間の一般外科での勤務の後、サブスペシャリティを乳腺外科に決め、東京の築地にあるがんセンターに勉強に行き、そこで今の主人と出会って結婚しました。2年目に子どもができて、生活が一変してしまい、主人が大阪医科大出身なので、主人についてきて、今に至ります。主人は化学療法センターにいます。3歳2ヶ月と0歳の二人の男の子の母親です。私は北海道出身、主人は岡山出身なので、両親の手助けは全くなく、日々戦っています。仕事では、下の子たちも入ってきてくれていますが、忙しくて、続けられるかどうかという瀬戸際にいる感じがしています。ただ、国立がんセンターは本当に厳しくて、子どもができたって言った瞬間に、「じゃあ、もういいです」って感じでした。大阪医科大は女性に優しいと思っています。ただ、保育園が…。3歳で出なくちゃいけないので、今後どうなるか、そこはまたちょっと厳しいです。

▶ 女性医師が入局したくなる医局づくり

宗宮 昭和63年の卒業で、循環器内科で30年近くやっています。大阪府医師会の「産休・育休中の代替医師を確保するための循環器内科ワーキンググループ」に参加しています。最近、大阪医科大では循環器内科の入局者が少なく、その原因のひとつが女性の医局員が一人しかいないからではないかと考えています。入局者の多い科をみると、産婦人科とか消化器外科も女性医師の入局者が増えていますから。

平松 循環器内科で女性の入局者が少ないというのは、今まで、女性に対して閉鎖的だったということ？

宗宮 いえ、そういうことではなく。たまたま女性の入局がなかった時期があり、どんどん入りにくくなったんだと思います。逆に、一人でも二人でも入れば増えていくんじゃないでしょうか。

梶本 帰るのが遅いとかが女性医師に敬遠されている理由ではないですか？

宗宮 遅いのは遅いですが、早く帰宅できるような専門領域もあるので、そういうところを選んでもらえば問題はないと思います。

梶本 入局者を増やすためには、女性医師に対して魅力的な医局づくりが必要な時代なんですね。

▶ 代替医師の派遣制度

玉置 宗宮先生は、女性医師の新規プロジェクトで、今までどのようなことをされてきましたか？

宗宮 大阪府医師会では、男女共同参画の色々なプロジェクトがあります。そのトップの上田真喜子先生が、仕事と育児の両立支援のためには、**院内保育所、病児保育室、柔軟な勤務体制**の3点セットが大切とおっしゃっています。そのうちの柔軟な勤務態勢を実現するには、代替医師の確保が必要です。今までですと、代わりの医師がどうしても必要な時には、民間医局などに頼んで派遣してもらっていたんですが、医師会でも医師の派遣業務ができるそうです。アンケートをとった時に「育休をとりにくいのはどうしてですか？」というのに対して、「他の先生に負担がかかるので気兼ねす

る」という意見がけっこうあったんです。それで、派遣業務をやるのではないかということになりました。

梶本 登録しておいたらいいんですね？

宗宮 ええ、医師会は厚労省からそういう認可を受けているそうで、派遣業務ができます。しかも無料です。大阪府では婦人科が先行していて、婦人科は新入医局員に女性が多く、8割くらいが女性ということなんです。循環器内科も女性医師が多く、約3割だそうです。アンケートで病院のニーズを聞き、現在は、大阪府下の循環器の医師に登録の可否についてアンケートを行っているという段階です。順調にいけば、一年くらいで実現できると思います。

森 それは現実問題として、大学に派遣されてくるとか？

宗宮 大学にはけっこう人数がいますので…。アンケートの結果からみると、大学ではあまり必要ないという声が多いですね。循環器を2人とか、3人でやっている病院では1人抜けると大変なことになるので、そういう病院が対象になると思います。

梶本 一旦、出産、子育てした後、フルタイムで復帰したいというのも支援するわけですか？

宗宮 もちろん、それは今回のプロジェクトとは違いますが、日本循環器学会で再就職の支援活動を行っています。

梶本 一般の企業でも同様のようですが、どうしても、幼稚園までと小学一年生との谷間というのがあって、小学校にあがるタイミングで離職というのがあるようです。ただ、少し子どもの手が離れるとまた一線で働きたいと。ただ離職期間中に医学も進歩していますから、キャッチアップが難しい面もあります。

平松 基本的にはね、離職したらだめですね。辞めない社会にしないといけない。M字カーブってあるでしょ？そのMのへこみを作らないように。やっぱり育てながら仕事がんばらないとね。フルでなくていいですからね。一旦家庭に入ってしまうと出てくるのは大変ですから。リハビリ的な復職というものもあるけど、まずそこでへこまさないことが大事ですよ。



宗宮 浩一先生

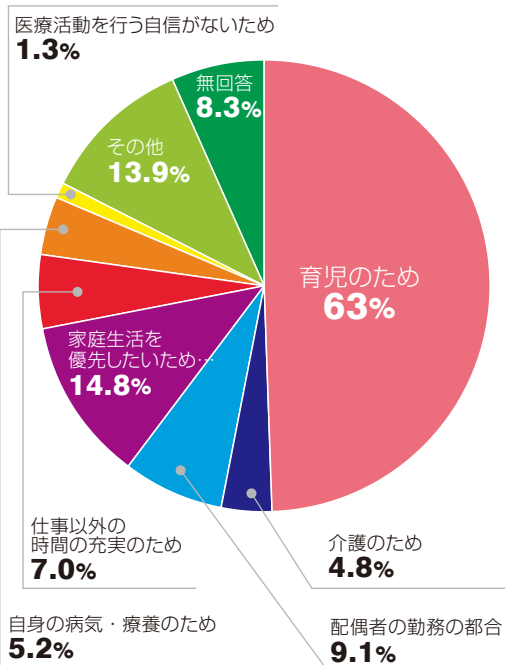
梶本 でも、介護とかもありますし、やむを得ず離職して復職を望む場合、リハビリ的な、職業訓練校的なことをやってあげてもいいですよね。やっぱり、辞めた後でも、復職できるようにしてあげないといけないんじゃないかな。

平松 もちろんそういうものもありますけどね。それは、やむを得ない臨時的な措置。基本的には、そこで辞めずにすむシステムを作ってあげないといけない。

▶ 育児と休職

宗宮 日本循環器学会で女性医師の方にアンケートをとってしまして、「非常勤や休職の主な理由は何でしょうか？」というのに、育児のために63%も占めています。自信がないとかブランクという回答はほとんどなくて1.3%です。実際、キャリアの支援というのは、思ったほどニーズがありません。

女性医師の非常勤・休職の理由



出典：2010年 日本循環器学会の女性会員に対するアンケート調査より
回答数843件中28.1%（非常勤職、休職中、介護休職中）を対象

平松 育児のためは、やむを得ずということですか？それとも積極的に？

宗宮 それはちょっとわからないですけど…。



平松 昌子先生

森 結局、正規雇用でなくアルバイトでも、医師を続けられるということじゃないでしょうか。

梶本 それなりに収入はありますからね。

平松 人それぞれなので、自分の子どもも見ないで仕事をしたくないという人もいますよね。

梶本 やむを得ずという人もいると思うので、上田先生の三点セットではないですけど、保育所と病児保育の充実が大事ななあ。

▶ 当直免除

玉置 宗宮先生の言われた勤務態勢を柔軟にするというのは、実際にどのようなことが柔軟であれば、仕事を続けやすかったり、働きやすかったりするんでしょうね？

寺沢 私は、臨床研修専門指導医という立場をいただっていますが、当直が必ず必要になってくるんです。その当直枠を必ずできるわけではないので…。その枠の代わりは自分で見つけてくださいと言われてしています。医局の先生に相談はするんですが、医局内でも難しいので、今は全部主人にお願いしています。

玉置 家庭内解決？

梶本 ご主人がいるからいいけど、いなければ頼む相手がいないですよね。それを個人で対処させるのはちょっと問題ですね。病院、医局での対応を考えないとね。

寺沢 そうですね。でも医局で対応していただくのも…。

宗宮 循環器学会の提言の中の柔軟な勤務態勢の中に、当直免除と書かれていますから…。

平松 子育て中の当直免除は最近では普通ですよ。

玉置 局員が少ないから、当直免除をしてあげたくても、できないということはないのでしょうか？

平松 その人が辞めてしまったらマイナス1名になるんだから、当直免除とか、そういう対応をしてでも続けてもらえる方が良いでしょう。

宗宮 研修医の当直については、医局内の意識の差とか、医局毎の人員数の問題とか、色々難しいこともありますね。

平松 うちの高槻日赤病院は、当直は免除でも、土日の日勤は受け持つんですよね。できるところを受け持つというようになっていますね。

寺沢 今、当直の代わりに休診の土曜日の日勤と土日の日勤が選べるんです。休診の土曜日の日勤は保育がやってないので、土日の日勤になるんですが、9時から5時まで主人が子ども二人の面倒を見るのはちょっと…3歳児だけならいいんですが、0歳児は…。だったら、主人が当直をやるということに、ね。

▶ 勤務時間

宗宮 当直が大変というのはわかるんですが、3歳児と0歳児の二人のお子さんがいらっしゃってフルタイム勤務って可能なんですか？

寺沢 正直、しんどいですね。ただ、治療はほとんど変わっていくので、一回抜けてしまうとその

期間のピックアップというのは難しいので。一人目の時、半年休んだんですけど、その半年でも外科なので、メスを持つのも手が震えるしという感じでしたし…。

平松 手技は、何ヶ月かやれば戻るのよね。本当に家に入ってしまうと、もうしんどくなるんですよ。まず復職するのにすごいエネルギーがいるでしょ？そういう意味でも、ほそぼそとでも続けておくのが一番いいんですよ。

宗宮 寺沢先生は、しんどくても続けていらっしゃるの、すばらしいと思うのですが、それで辞められる方も絶対いらっしゃいますよね。

寺沢 そうですね。まわりをみても、近くに両親とかいらっしゃらないと、非常勤とかに。

宗宮 時短勤務ってどうなっているんですか？給料とか一気に下がりますよね。

平松 大学には時短勤務、ありますよ。私のいた時にできたんです。もちろん給料は安くはなるけど、週何時間以上とか、規定がありますよ。

森 時給制という感じですか？

平松 いえ、短時間正規雇用制度。

梶本 あまりまわりで聞かないね。

玉置 規定など、ホームページなどで見られたと思います。

宗宮 寺沢先生、そういうの知ってらっしゃいましたか？

寺沢 いえ、辞めてしまったら時給1000円だと思ってました（笑）

森 へんな噂だけが広まってるんですよ（笑）

宗宮 最初から時短というわけにはいかないでしょうが、そういう規定があるなら、しっかりアピールする必要がありますね。

梶本 そうですね。そういうのがあるとわかれば、循環器も人が集まるかもしれませんもんね。

寺沢 最初、一人目が生まれた時は、何もかも一生懸命やらなくちゃいけないと思っていたんですけど、二人目が生まれてからは、もういいかあと。



梶本 宣永先生



森 京子先生

家事とかいいかげんです。

平松 ご主人は家事とかやってくれるんですか？

寺沢 ええ、なんでもやってくれますね。洗濯王子と呼んでいます。

平井 本当に、ご主人はまめな方だと思いますね。朝、他の子どもたちにも絵本の読み聞かせをしてくださるくらいで。人気者です。そういうお父さんじゃないと難しいですよ。

梶本 イクメン大賞かなんか作った方がいいんじゃない？

平井 梶本先生もイクメンに入ってますよ。

梶本 昔に比べたら、今はけっこういますよね。

玉置 公衆衛生にくる先生で、奥さんが忙しいから、自分は比較的楽なところへいこうと思う、という男性医師はいますね。

梶本 女医さんの結婚相手は医師がいいんでしょうかね。

寺沢 都心にくるほど、医者同士の結婚が多いですね。理解があるというか、わかりあえる気がしますね。

森 でも、忙しい、忙しい、だと難しいですよ。耳鼻科には代々女医がきているので、なんとなく協力していただけるようになっていくんです。一応、5時で帰す。派遣先の病院でも当直免除。その人の考え方によって、個々のやり方で手伝っていただいて…というようにしています。

梶本 5時に終わろうと思えばできると思うんですよ。僕も今は、時間内で終わるように、患者さんには4時に来てくださいというようにしていますね。

レジデントはしかたないけど、そうでなければ、業務は時間内に終わるように調整できる。

宗宮 研修医もね5時に終わるようにね。

梶本 そう、研修医もね。救急は例外としても、ルーティング業務はね。

宗宮 世の中はそういうムードになってきていますからね。

梶本 勤務態勢を柔軟にすれば、若い先生も入ってもらえるし、女医さんも入ってもらえるし、そのあと継続してキャリアを積んでもらえるということにつながりますもんね。

▶ 大学の保育所

平井 大学院生待遇の方の保育所利用はあります。学生以外はお預かりしていますが、夜は20時までです。

平松 今、病児保育をやっているところは多いと思いますけど。ここも20時までですよ。前回の座談会で麻酔科の先生がおっしゃっていましたが、ある病院では麻酔科は人が足りないので、麻酔科の先生がオンコールの時は、特別に24時間保育士さんが見てくださるということでした。今、外科も少ないし、婦人科も少ないし、困ってくるとみんな動くんですけど。こないだの学会で聞いたのは、手術が5時で終わらない時は、事務方がかわりに保育園にお迎えに行ってくれたり、夜に呼ばれた時は、保育士さんにコールして来てもらったり、予約しておけば遅くまで見てもらえるとか。色々対応していますね。前回の麻酔科の先生の話聞いたときは、へえ?っていう感じでしたけど、今は増えていますね。



大学の保育所

梶本 高槻赤十字病院はどうなんですか？

平松 うちも20時までで病児は小児科の先生が見てくれて。小児科のところに部屋があるんで、そういう意味ではまだいいかなあ。24時間はさすがにね…。でも24時間のところも最近はでてきていますよ。大きなところじゃないとだめですけど。

玉置 そういう女性医師の働くための勤務条件の情報などが集約されているところとか、聞くとわかるところってないんですか？

平松 大阪府医師会で調査しましたね。

梶本 役所とかではないでしょうね。医師会などで調べるということになるかな。大阪医科大も大学院生も含め、20時まで託児所が整備されているということですよ。今まで、定員オーバーで入れなかったというようなことはないですか？

平井 一応、定員は45名なんです。よその保育所は0歳児枠が何名、というように決まっていますが、ここはそういう枠がなく、現状0歳児が20数名いるんです。本来は一对三の保育を確立しなければならぬので、職員が揃っていない状況ですが、定員45名まで可能な限り受けてほしいと言われています。

梶本 では、職員の方が足りないという？

平井 私たちはそういう認識でいるんですが、週3日というドクターもいらっしゃるんで、毎日足りないというわけではないんです。MAXでこられると、保育所側も早出から20時までいくつかのシフトがありますし、10名の職員全員が朝から20時までいるわけではなく、揃っている時間が限られてますが、保育士の人数だけで判断されているのかもしれない。今後、学生さんも利用可能にしたいという



平井 智子先生

拡がりもあるようなんですが、体制さえ整えていただければ保育所側は見えますというか、見ないということではないですが、よそに0歳児が入れないというので、現状はかなり0歳児が多くて…。

梶本 体制的にはいつでも入れる？

平井 45名を超えなければストップがかかることはないと思います。超えたことが今までないので。

梶本 当面、定員的には問題ないということのようですね。

平井 はい、ただ45名全員が0歳児となると、とても今の職員数では対応できないのが現状です。保育士もなかなか集まらなくて。

梶本 3歳まではいけるんですね？

平井 3歳のお誕生日を迎えて、翌年には出なくてはいけません。3歳からはよそにも行きやすいけれど、3歳未満保育が充実していなかったの、3歳までにしたと聞いています。

梶本 3歳以上も見て欲しいという要望もあるんですね？

平井 たくさんのご要望があれば。3歳で慌てて出なければならないということがない方が良いでしょうが、今の施設で6歳までというのは難しいですね。園庭、遊具もないですし、職員体制も保育内容も変わるので、部屋数もないですから。今のところ、年齢枠を広げるということは聞いていません。

梶本 例えば3歳以上の要望がどれだけあるかわからないですね？アンケートをとってみてもいいですね。人事課と現場も離れているので、現状を把握されていないのではないですか？

平井 受け入れ側としては現状の施設では難しいので、次のステップになると思います。入所、退所の手続きは人事課が対応していますし、毎日の報告はあげていますが、保育の内容はご存知ないので認識がずれている事もありますね。

玉置 保育室はどういう組織体制になるんですか？

平井 以前は、看護部の所属だったんですが、今は人事課の所属なんです。

梶本 その当時は看護師しか使えなかったのも、その点は大きな進歩なんです。キャリア支援センターの星賀先生に、女性の支援の体制はどう考えておられるんですか?とお聞きしたところ、まだそこまで手がまわりませんとおっしゃっていましたね。ただ今後、女性のキャリア支援、子育て支援というのは、キャリア支援センターでも重要になってくることですから、支援センターとも一緒に話し合いながら改善しないといけませんね。

平松 人事課所属なら、人事課はそういう現状を把握しておかなければならないですよ。

平井 そうですね。私からそういうことをアピールはできませんし、要望があれば動くようにできるので、要請があればこそですね。こういう外部の方のお話を聞くのも初めてです。

平松 やっぱ、利用者の要望を集約して上に訴えなくてはいいですね。

梶本 そういう仕組みを作っておかなければなりません。

平松 何年前かに保育所への要望というような、運動があったことがありますか…

梶本 一時的なものではなく、常に要望を吸い上げるような、そして随時、人事課長へ報告が行くような仕組みが必要ですね。

玉置 要望があつてこそなので、仕組みとしては本学の女性支援の組織の方からのアプローチでないと、現場からの声では難しいんじゃないでしょうか。本学がどう考えるかですよ。

平井 こちらも現状を伝えつつ、みなさんの要望も…ということになるかと思いますね。

玉置 大学が優秀な人材を確保するには、そういう環境整備が重要なんじゃないかな。どうですか、お一人おひとり何かコメントというか…。

▶ 3歳の壁

寺沢 一番困っているのが3歳ですね。ここの保育園を出る時に、外の保育園で3歳枠はあいてないと言われて…



平松 3歳の壁ってやつですね。

寺沢 色々かけあつたんですけど、高槻市は全くとれないと言われて…。幼稚園枠だったらなんとかいはけるんですけど、幼稚園でいくと預かり保育というのを利用して…

平井 オプション的なものですね。そうするとまた高くなったりするんですよ。

森 私の時はかなりスムーズでしたけどね。

梶本 うちも、マリア幼稚園はすぐ入れましたね。

平井 今まで、3歳児で入れなかった方は一人もいないんですね。入れなかったので続けて見て欲しいというお話はありませんでした。年齢が上がると受け入れ人数が少しずつ増えていくので、入りやすくなるんですけどね。0歳が6人枠、1歳になると9人～10人というように、ほんとに入りやすくなるので、3歳になったら、たいてい希望されるところに入ってもらえるんですけど。

寺沢 このへんでは、2歳児がそのまま3歳児枠に移行するらしく、2歳児が一人でも出ないと空かないということで…入れないって。

森 私の時もけっこう厳しく言われたんですけど、まだ最終決定で通達が来たんじゃないですよ。

寺沢 2月に通知が来るみたいです。

梶本 看護師さんとか医者とか、けっこう優先的に扱ってもらえませんか?

平井 母子家庭の方がいらついたら、そちらが優先になったりもしますね。

寺沢 何度も掛け合うといっても、市役所へ頻繁

に行く時間もないですし。

森 平日の定時内にいかなければならない…というのは、仕事を抜けて行かなければならないですしね。

梶本 もし2月の最終通達で入れないとなったら、例外的に？

平井 それはたぶん。働けなくなってしまうので、相談によって臨機応変に対応するかたちになると思いますが、お子さんの成長を考えると、小さい子ばかりになるので…。3歳からはある程度の集団で、色々な遊びをして、それから就学するというのが良いのですが。

梶本 うーん、今までに入れなかった人が一人もないというのも、重要な情報かな。

平井 ただ、今システムが変わってきているので、地域型の保育所ができたりとか、過渡期で情報が得にくいかもしれないですね。兄弟だと入りやすいというのはないですか？

寺沢 第二子は入りやすいそうなんですけど、下が入ったから上の子も、というのは難しいようです。幼稚園で

っていると預かってもらえるけど…。

平井 えっ？ 保育園枠だったら預かるのに？

森 困った問題ですね。

寺沢 もうちょっと情報があれば…と思うんですけど、人事課とかでも。

梶本 そういうところをサポートしますというのが、人事課にあればいいですね。コンシェルジュみたいなね。

平松 いいですね、それ。子育てコンシェルジュ！

梶本 そういう要望も出してみましようかね。大阪医科大からの口添えとかね。

寺沢 ほんとうにそういうのがあったらいいですね。

平井 保育所は市役所管轄ですので、どこから情報を得るかですね。最終、入れなかった時は、応相談ということで対応はきくと思いますが、お子さんの事を考えると随時申込みで、空きがあったら

入るというようにしておいて。

梶本 そういえば、予防接種などは復活してるんですか？前は小児科で受けられてましたけど。

平井 もう今は、かかりつけ医でという指導になっていて、本学では受けられないですね。

森 市がダメということですか？本学が？できれば本学ががんばってやってほしいですね。

梶本 予防接種はけっこう大変ですよ。それも含めて復活してほしいですね。玉井先生に相談して、復活してもらいたいですね。

森 夜に予防接種を予約してできるところなんてないですね。

寺沢 そうなんです。勤務中に抜けて行くしかないんです。一回言ってみたんですが、「ダメ！かかりつけに行ってください！」とバシって言われてしまっ

平井 前はインフルエンザもまとめてね…お子さんも一緒に。今は全然ノータッチ、各個人にお任せですね。

梶本 それは復活してもらったらどうですか？時代に逆行していますよね。

森 そうですよ。院内に託児所もあるのに…。

梶本 座談会のまとめを玉井先生にみていただいでご相談しましょう。

玉置 そうですね。話題はつきませんし、簡単に結論を出せるものばかりではありませんが、本日は色々なお話を聞かせていただき、見えてきたことも多いように思います。女性医師のためだけでなく、男性医師のことも考え、柔軟な勤務態勢については今後も考えていきたいですね。本日は、貴重なお時間をありがとうございました。